

令和5年度

島根
教弘
会報
vol.2



「ただ走る」
島根県立六道高等学校通信制課程生徒
野崎 千愛季さん

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部
株式会社 島 根 教 弘

弁当の日

(株) 島根教弘

代表取締役 矢野 英明



ラジオ深夜便から竹下和男氏の懐かしい声が聞こえてきた。氏は「弁当の日」の提唱者で、退職後の現在も全国で精力的に講演活動を行っている。共同通信社によると「弁当の日」は全国約2,000校で取り組まれているとのこと。「弁当の日」は食育と思われがちだが、氏は「子どもが自立できる環境作り」といい、実践した私は「現代社会病理の漢方薬」と捉えている。

小学生だった私の毎日の日課は風呂焚き。家族が風邪をひくか、強風のとき以外は6年間365日、毎日毎日燃やし続けた。おかげで今は、物を燃やすのが一番の趣味である。大きな声では言えないが。そのほか、掃除、洗濯、炊事にいたるまで、やるべきことはたくさんあった。私は手伝いが好きではなかったが、母親が帰ってくるまでにご飯を炊いておいたとき、「助かった。」といわれるのは悪い気はしなかった。今思うと、感謝されることがうれしくて手伝いをしていたのかもしれない。

子どもはいつも、親に喜んでほしいと思っている。子どもがやることは遅くて不完全。それでも昔は親に余裕が無かったので、遅くて不完全でも親は助かり「ありがとう」と言ってきた。そして、少しずつ早くうまくできるようになる子どもの成長を親子で感じていた。ところが今は子どもが手伝いから遠ざかり、子どもは家族の一員であることを確かめる術と、失敗する権利を失ってしまった。

ある男の子が弁当を自分ひとりで作った。卵焼きは形が崩れ、全体の彩りもパツとしない。母親は卵焼きを格好のよいものと取替え、彩りにプチトマトを入れた。男の子は二度と自分で弁当を作ろうとせず、母親は、やっぱり自分の子には「弁当の日」は無理だと思った。子どもにとっては、見栄えのよい弁当よりも自分だけで作ったことのほうがはるかに価値が大きいことを大人は忘れていないだろうか。

助けてばかりもらっている子どもは、いつまでたっても大人にはなれない。社会に出れば、自分ひとりで頑張るしかないのだが、大人としての自信がない者を人はなかなか認めてくれない。形が崩れた卵焼きを、それでも褒めてくれるのは家族しかいないのである。

勤務校で竹下和男氏に講演をしていただいたことがある。氏は「愛された子どもは素敵な大人になる。」と話されたが、その素敵な大人が増えていくことが、無差別殺人や虐待など様々な形となって現れている現代社会病理を根底から治療することにつながると思う。そして、子どもが家族の一員であることを自分自身で確かめ、子どもの成長を家族みんなで認めていくことが、子どもを素敵な大人へと成長させるのではないだろうか。それができるのが「弁当の日」であり、だからこそ今始める価値があると思う。大人は手出し口出しを一切しないというとても簡単な「弁当の日」を、みなさんの学校でも始めてみてはどうだろうか。

表紙の作品について ～「ただ走る」～ 宍道高等学校生徒 野崎千愛季 さん

私たちはただ走る。

息が切れても、脚の骨を折っても、引きずられてでも走り続ける。

心臓が脈打つ限り。

それはとても恐ろしくて残酷だけど、本質的で心を打つストーリーがある。



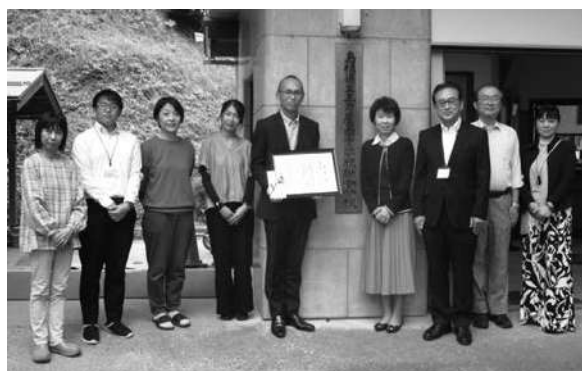
令和5年度

教育実践研究論文ご応募ありがとうございました

令和5年度教育実践研究論文を令和5年1月8日～3月31日に募集したところ、学校部門（教育研究団体を含む）に17編、個人部門（研究グループを含む）に9編の応募がありました。

5月から8月にかけて、第一次選考委員会（選考委員7名）、第二次選考委員会（選考委員10名）をそれぞれ2回実施し、「最優秀」「優秀」「優良」「奨励」の各賞および令和5年度日教弘教育賞推薦論文（学校部門2編、個人部門1編）を決定しました。作品の応募状況、選考結果については以下に掲載しています。

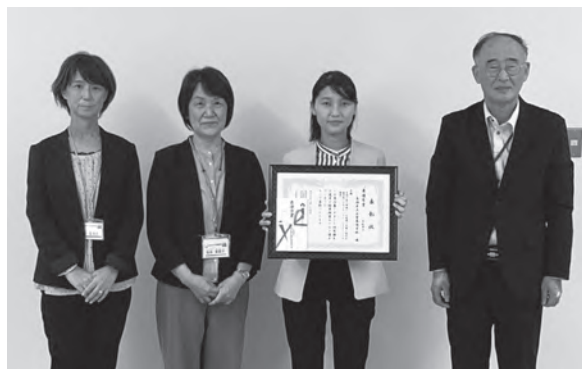
「奨励」以上の作品には助成金を贈りました。加えて、「優秀」以上の作品には賞状を添えて業績を称え表彰しました。なお、「最優秀」と「優秀」に選ばれた作品は、『島根の教育研究と実践』としてまとめ、令和6年3月、各園・学校及び教育機関に配付することとしています。



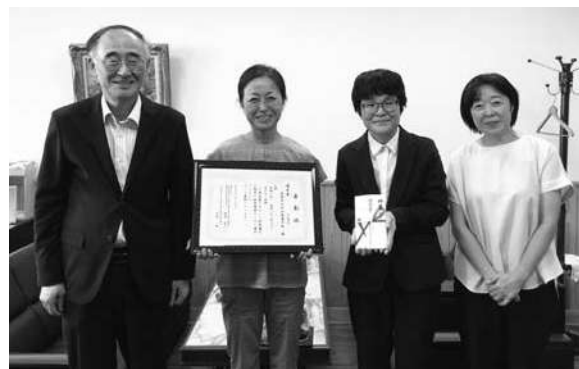
最優秀（学校部門）表彰 三刀屋高等学校掛合分校



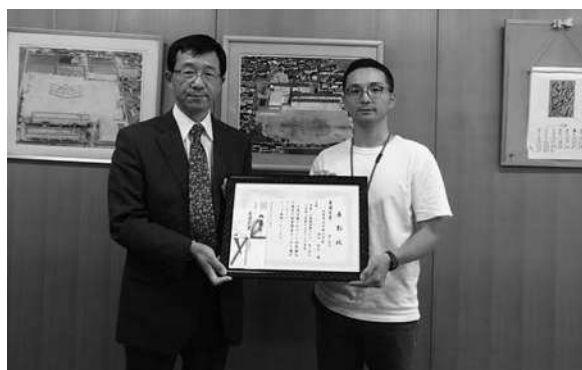
最優秀（学校部門）表彰 大田市立大田西中学校



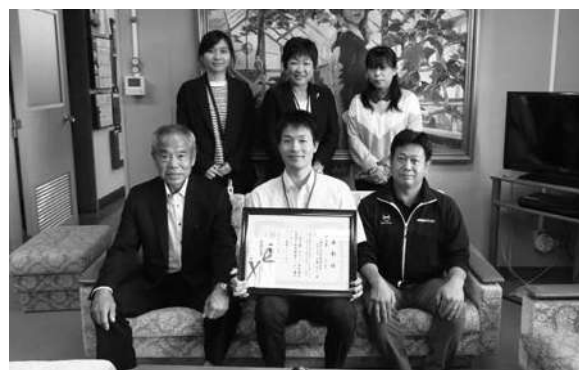
最優秀（学校部門）表彰 出雲養護学校



優秀（学校部門）表彰 浜田養護学校



最優秀（個人部門）表彰 出雲市立四絡小学校



最優秀（個人部門）表彰 石見養護学校

1. 令和5年度応募状況

(1) 部 門 別

| | | | |
|-----------------|-----|-----------------|----|
| 学校部門(教育研究団体を含む) | 17編 | 個人部門(研究グループを含む) | 9編 |
|-----------------|-----|-----------------|----|

(2) 地域・校種別

| | 松江 | 安来 | 雲南 | 仁多 | 飯石 | 出雲 | 大田 | 江津 | 邑智 | 浜田 | 益田 | 鹿足 | 島後 | 島前 | 計 |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 幼 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 |
| 小 | 2 | | 1 | 2 | | 3 | | | | | | 2 | | | 10 |
| 中 | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | 3 |
| 高 | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | | 3 |
| 特 | 3 | | | | | 1 | | | 1 | 2 | 1 | | | | 8 |
| 計 | 8 | 0 | 2 | 2 | 0 | 5 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 26 |

2. 令和5年度教育実践研究論文一覧

【学校部門(教育研究団体を含む)】

※所属、氏名は令和5年3月現在です。

| 地区名 | 学校名・申請代表者氏名 | 研 究 主 題 等 | 評 価 |
|-----|------------------------------|--|------------|
| 鹿 足 | 津和野町立津和野小学校 中 尾 瑞 紀 | 「子どもたちの読書習慣と情報活用スキルの育成」 ～学校図書館を学校の中心にしていくために～ | |
| 雲 南 | 島根県立三刀屋高等学校 掛合分校 山 崎 誠 | 地域の関係諸機関と協働しながら進める探究学習(PBL)の持続 可能性とその教育効果について ～「掛合分校がうんなんのお米を応援するプロジェクト」の取組 を通して～ | 最優秀 (推) |
| 浜 田 | 島根県立浜田ろう学校 永 瀬 正 幸 | 自ら思考し表現する姿を目指して(3年次) ～思考を引き出したり深めたりする支援の在り方～ | |
| 邑 智 | 美郷町立邑智中学校 竹 下 順 司 | 伝え合う力を高め、主体的な学びを支えるために ～「要約学習」と「メディアコントロール・ウィーク」の取組を を通して～ | |
| 出 雲 | 出雲市立荘原小学校 日 野 久 美 | ふるさとに学び今を問い続け共に明日をつくる子どもの育成 ～社会への関わり方を考える社会科の授業づくり～ | |
| 益 田 | 島根県立益田養護学校 八 東 政 義 | 地域の中で力強く生きる子どもの育成を目指して ～主体的・対話的で深い学びの授業改善～ | |
| 松 江 | 松江市立朝酌幼稚園 持 田 健 司 | 友だちと豊かにかかわりながら自分らしさを発揮できる子どもの育成 ～園児6名だからこそできる取組を求めて～ | |
| 松 江 | 松江市立朝酌小学校 持 田 健 司 | 自らの学びを育む授業 ～伝え合う再現活動を通して～ | |
| 浜 田 | 島根県立浜田養護学校 佐々木 千 尋 | 地域を知り、地域と共に学び合い、高め合う取組 ～地域との連携・協働の学習の充実を目指して～ | 優 秀 |
| 出 雲 | 出雲市立平田幼稚園 田 中 佳 江 | 自ら環境に関わり、遊びを続ける幼児の育成 ～発達筋道を踏まえた保育の展開を工夫し、その評価から適切 な援助を探る～ | |
| 仁 多 | 奥出雲町立亀嵩小学校 秦 康 人 | 「学校経営グランドデザイン」を基盤に据えた全校体制での自己肯 定感の育成に向けた取組 | |

| | | | |
|----|-----------------------|--|------------|
| 大田 | 大田市立大田西中学校 伊藤浩二 | 生徒とともに学び合う人権学習（第2年次研究） ～外部機関とのリモートによる取り組みに視点をあてて～ | 最優秀 |
| 雲南 | 雲南市立海潮小学校 寺下利弘 | 思いを伝え合いながら、学ぶ楽しさを実感する子どもの育成 ～よさを発揮しあう授業づくりを通して～ | |
| 松江 | 島根県立松江ろう学校 中村明子 | 主体的な心「もっと○○したい！」を育む授業づくり ～ICTを取り入れた取組～ | |
| 大田 | 大田市立第一中学校 上田直樹 | 「共に学び合い、認め合う生徒の育成」 ～つながりのある学びを意識した教育活動を通して～ | |
| 出雲 | 島根県立出雲養護学校 福島美菜子 | 目指す姿を明確に ～大規模で多様な特別支援学校でのカリキュラム・マネジメントの推進～ | 最優秀 (推) |
| 松江 | 島根県立松江緑が丘養護学校 坂田志帆 | みどりコンソーシアムの取り組みについて ～社会とつながる学びの創造～ | |

【個人部門（研究グループを含む）】

※所属、氏名は令和5年3月現在です。

| 地区名 | 学校名・申請代表者氏名 | 研究主題等 | 評価 |
|-----|------------------------------------|---|------------|
| 鹿足 | 津和野書写教育クラブ 中尾瑞紀 | 「小学校『書写』の受け持ち実態と指導から考える毛筆指導の授業」 ～専科・管理職等が行うフツアの指導の実践を通して～ | |
| 松江 | 開星中学高等学校 倉掛裕喜 | 6種類の探究講座の実施を通じて全校生徒の主体的な学習がどう深まるか。 ～探究×外部講師×外部交流をいかに有効に活用していくか～ | |
| 松江 | 松江市立川津小学校 門脇元子 | すすんで考えや思いをもち、ともに解決しようとする子どもの育成 ～「人権教育」を軸とした教科横断的なカリキュラム開発と実践を通して～ | |
| 松江 | 島根県立松江養護学校 乃木舎道徳科研究グループ 錦織晃子 | チームで取り組む知的障がい特別支援学校高等部における道徳科の授業開発と実践 | |
| 邑智 | 島根県立石見養護学校 若槻洋太 | 特別支援学校の保健体育科における他者と伝え合い、思考する力の育成を目指すICT活用 ～アセスメントの充実に基づく、個別最適な学習を目指して～ | 最優秀 |
| 出雲 | 出雲市立上津小学校 勝部加奈子 | 子どもたちの学びに向かう姿勢づくりについて ～姿勢についての理解教育・姿勢保持トレーニングの習慣化を通して～ | |
| 松江 | 島根県立宍道高等学校 柴原容 | 新教育課程の通信制における芸術科（音楽）の実践と評価について ～その方向性を探るための視点～ | |
| 出雲 | 出雲市立四絡小学校 塚田哲也 | 学習への課題意識をもち、自ら学びを計画し学習する子どもの育成 ～小学校中学年体育科ゲーム領域における単元構成と振り返りの工夫を通して～ | 最優秀 (推) |
| 仁多 | 奥出雲町立三成小学校 吉廣恭由子 | 今ここでしかできない価値ある教材に対する児童・教諭の継続的な意識化への挑戦 ～循環型農業も含むたたらをめぐるふるさと学習の確立を目指して～ | |

※評価の欄は、「優秀」以上を記載しています。（推）は、令和5年度日教弘教育賞推薦論文です。

3. 選考結果【評価段階別一覧表】

| 部門・評価 | 最優秀 | 優秀 | 優良 | 奨励 | 無評価 | 合計 |
|-------|-----|----|----|----|-----|----|
| 学校部門 | 3 | 1 | 9 | 4 | 0 | 17 |
| 個人部門 | 2 | 0 | 4 | 2 | 1 | 9 |

(公財)日教弘島根支部は 島根の子どもたち・教職員の皆様を応援しています

(1) 令和5年度高等学校等給付奨学生と、貸与奨学生を決定しました。

令和5年度給付奨学生（高校生等対象）を募集したところ46校から応募があり、選考の結果48名を給付奨学生として決定しました。一人15万円、総額720万円（予算720万円）を給付しました。

また、令和5年度貸与奨学生（大学生等対象）を募集したところ22名の応募があり、選考の結果22名全員を貸与奨学生として、総額2,075万円を貸与することに決定しました。

奨学生の皆さんが、学業をはじめ様々な活動に意欲的に取り組み、夢に向かって前進されることを期待しています。

高校等給付奨学生成果報告書から（プライバシー保護のため一部改変しています。）

私は、幼いころからの夢であった弁護士になるため、高等学校で学んでおります。私は、小学生の時に父が亡くなり色々と環境が変わりました。高校に進学しても教科書や制服、文房具などにお金がかかり、生活は少し苦しい状態でした。しかし、この奨学金のおかげで、欲しかった電子辞書を購入することができました。電子辞書には高校生活に必要な参考書や単語帳が搭載されているため集中して勉強に取り組むことができ、成績も少しずつ上がってきています。今度は漢検、英検の資格にも挑戦しようと考えています。これからも、ご支援をいただいたことに恥じぬよう最後まで真面目に学生生活を送り、志望大学に進学できるように一層の努力を行ってまいります。ご支援くださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。

この度は、給付奨学生に採用していただき、ありがとうございました。私は母と二人で暮らしており、母を支えたいという思いから就職を選びました。就職先ではパソコンを使って資料作成などをする場面も多く、入社する前からパソコンスキルを上げたいと思い、日々勉強しています。しかし、兄が社会人となり県外にパソコンを持っていったためパソコンで勉強することができなくなりました。そのため、私は奨学金でパソコンを購入しました。パソコンを購入したことで中断していたパソコンの勉強を再開することができました。現在はエクセルやパワーポイントといったアプリケーションの勉強をしています。どれも簡単ではないですが、できることが増えていくのを感じながら楽しく勉強をしています。これからたくさんの経験をしていくので、日々学ぶ姿勢をもち知識やスキルを磨き続けていきたいと思っております。

(2) 令和5年度教育研究助成事業（奨励金）の助成対象を決定しました。

| No. | 給付団体名 | 研究・実践内容 | 助成額 |
|-----|--|--|------|
| 1 | 島根県公立小中学校教頭会 | 第43回中国地区公立学校教頭会研究大会（島根大会） | 30万円 |
| 2 | 全国肢体不自由教育研究協議会 島根大会実行委員会 | 第69回全国肢体不自由教育研究協議会 島根大会 | 30万円 |
| 3 | 中国地区小学校生活科・総合的な学習の時間研究大会実行委員会 | 第10回中国地区小学校生活科・総合的な学習の時間研究大会（島根大会） | 10万円 |
| 4 | 中国四国地区病弱虚弱教育研究連盟 | 第45回中国四国地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会島根大会 | 30万円 |
| 5 | 中国・四国地区高等学校長協会連絡協議会（島根県公立高等学校長協会） | 令和5年度中国・四国地区高等学校長教育研究協議会島根大会 | 10万円 |
| 6 | 日本教育大学協会養護教諭部会・全国国立大学附属学校連盟養護教諭部会島根大会事務局 | 日本教育大学協会養護教諭部会全国国立大学附属学校連盟養護教諭部会第58回研究協議会並びに総会 | 10万円 |
| 7 | 島根県国際理解教育研究会 | 第15回国際理解教育中国ブロック大会及び第11回島根県国際理解教育研究大会・松江大会 | 10万円 |
| 8 | 第33回中国地区学校図書館研究大会大会実行委員会（島根県図書館協議会） | 第33回中国地区学校図書館研究大会益田大会 | 20万円 |
| 9 | 中国・四国地区中学校技術・家庭科研究会（島根県中学校技術・家庭科研究会） | 第61回中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会（島根大会） | 30万円 |



全国肢体不自由教育研究協議会
島根大会実行委員会へ助成



中国・四国地区高等学校長協会連絡協議会
（島根県公立高等学校長協会）へ助成

(3) 令和5年度教育文化事業（学校教育活動助成、へき地学校教育支援、読書活動推進助成）の助成対象を決定しました。

学校教育活動助成

| No | 応募団体名 | 研究・実践内容 | 支出内容 |
|----|-----------------|--------------------|--|
| 1 | 島根県算数・数学教育研究会 | しまね数リニピック | 参加賞 (缶バッジ・クリアファイル)、優秀賞以上(メダル) 257,180円 |
| 2 | 島根県中学校技術・家庭科研究会 | 島根県中学生創造ものづくり教育フェア | ロボットコンテスト大会 参加賞及び副賞 50,000円 |

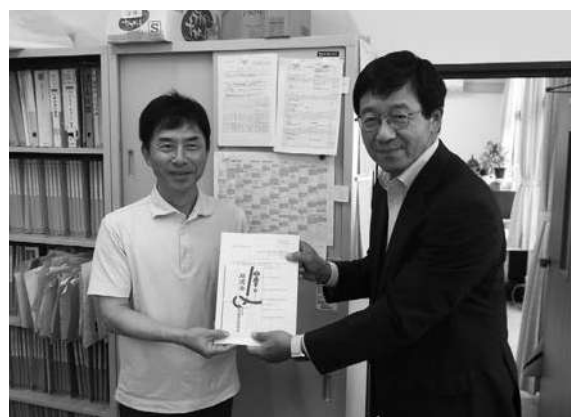
へき地学校教育支援

| No | 応募学校名 | 実施する事業名 | 給付額 |
|----|-------------|-----------------------------|-----|
| 1 | 西ノ島町立西ノ島小学校 | ICT教育の環境整備 | 8万円 |
| 2 | 隠岐の島町立五箇中学校 | 教育環境を整備する事業 | 8万円 |
| 3 | 飯南町立志々小学校 | 学校図書館環境整備 | 8万円 |
| 4 | 益田市立匹見小学校 | ひきみりよくフェスタ 2023 | 8万円 |
| 5 | 隠岐の島町立中条小学校 | ヤマネ学習 | 8万円 |
| 6 | 隠岐の島町立磯小学校 | 個を認め合いながら豊かに表現する児童の育成のための研究 | 8万円 |
| 7 | 出雲市立窪田小学校 | 出雲歌舞伎体験・発表会 | 5万円 |
| 8 | 奥出雲町立高尾小学校 | みんなでいっしょに高尾っ子まつり | 5万円 |
| 9 | 浜田市立旭小学校 | 旭小学校登校指導 | 5万円 |
| 10 | 大田市立北三瓶小学校 | 地域交流事業(北三瓶大運動会) | 5万円 |
| 11 | 大田市立志学小学校 | 子どもの運動機会確保のための備品整備事業 | 5万円 |
| 12 | 江津市立桜江小学校 | PTA奉仕作業(環境整備) | 5万円 |
| 13 | 邑南町立瑞穂小学校 | プログラミング学習 | 5万円 |
| 14 | 邑南町立石見東小学校 | 小規模校における効果的な授業方法の研究 | 5万円 |
| 15 | 邑南町立日貫小学校 | 体育科学習備品を充実させる事業 | 5万円 |
| 16 | 益田市立真砂小学校 | 真砂っこ 持ち味ぐん! | 5万円 |
| 17 | 津和野町立木部小学校 | 木部っ子学びの協働プロジェクト | 5万円 |
| 18 | 吉賀町立朝倉小学校 | 読書環境整備事業 | 5万円 |
| 19 | 出雲市立佐田中学校 | 体育科の授業改善を図るための備品整備事業 | 5万円 |
| 20 | 飯南町立頓原中学校 | 個人研究最終発表会(3年生) | 5万円 |
| 21 | 浜田市立旭中学校 | 地域や保護者と連携し、子どもたちの資質を高める事業 | 5万円 |
| 22 | 大田市立志学中学校 | 保・小・中・地域運動会の行事を円滑に行う備品整備事業 | 5万円 |

| | | | |
|----|------------|-------------------------------------|-----|
| 23 | 大田市立北三瓶中学校 | 地域交流事業（北三瓶大運動会） | 5万円 |
| 24 | 出雲市立須佐小学校 | I C T 機器整備事業 | 5万円 |
| 25 | 雲南市立田井小学校 | 夏休みプール開放時における保護者・地域ボランティアの監視に係る環境整備 | 5万円 |
| 26 | 雲南市立掛合小学校 | スキー教室 | 5万円 |
| 27 | 奥出雲町立馬木小学校 | 馬木小学校創造的な学び推進計画 | 5万円 |
| 28 | 飯南町立赤名小学校 | 学習発表会 | 5万円 |
| 29 | 大田市立高山小学校 | プログラミング出前授業 | 5万円 |
| 30 | 美郷町立邑智小学校 | 運動会（鼓笛隊） | 5万円 |
| 31 | 吉賀町立六日市小学校 | 校内音楽会 | 5万円 |
| 32 | 飯南町立赤来中学校 | 体育祭活性化事業 | 5万円 |
| 33 | 川本町立川本中学校 | 教育環境を整備する事業 | 5万円 |
| 34 | 吉賀町立吉賀中学校 | 少人数生徒会活動充実事業 | 5万円 |
| 35 | 吉賀町立六日市中学校 | サクラマスプロジェクト | 5万円 |
| 36 | 安来市立井尻小学校 | 井尻っ子わくわく交流事業 | 5万円 |



島根県中学校技術・家庭科研究会へ助成
（教育研究助成事業、学校教育活動助成）



邑南町立石見東小学校へ助成
（へき地学校教育支援）



江津市立桜江小学校へ助成
（へき地学校教育支援）



雲南市立田井小学校へ助成
（へき地学校教育支援）

読書活動推進助成(各校4万円を助成)

(高等学校 25 校)

| No. | 学校名 | No. | 学校名 | No. | 学校名 | No. | 学校名 |
|-----|-------------|-----|----------|-----|----------------|-----|-------------|
| 1 | 松江南高等学校 | 8 | 出雲農林高等学校 | 15 | 浜田高等学校(定時制通信制) | 22 | 松徳学院高等学校 |
| 2 | 松江東高等学校 | 9 | 大社高等学校 | 16 | 浜田水産高等学校 | 23 | キリスト教愛真高等学校 |
| 3 | 宍道高等学校 | 10 | 大田高等学校 | 17 | 益田高等学校 | 24 | 明誠高等学校 |
| 4 | 三刀屋高等学校掛合分校 | 11 | 島根中央高等学校 | 18 | 益田翔陽高等学校 | 25 | 益田東高等学校 |
| 5 | 飯南高等学校 | 12 | 矢上高等学校 | 19 | 吉賀高等学校 | | |
| 6 | 出雲高等学校 | 13 | 江津高等学校 | 20 | 津和野高等学校 | | |
| 7 | 出雲工業高等学校 | 14 | 江津工業高等学校 | 21 | 開星高等学校 | | |

(特別支援学校 17 校)

| No. | 学校名 | No. | 学校名 | No. | 学校名 | No. | 学校名 |
|-----|-------------|-----|--------------|-----|----------|-----|-----------|
| 1 | 盲学校 | 6 | 出雲養護学校 | 11 | 石見養護学校 | 16 | 江津清和養護学校 |
| 2 | 松江ろう学校 | 7 | 出雲養護学校大田分教室 | 12 | 浜田養護学校 | 17 | 松江緑が丘養護学校 |
| 3 | 浜田ろう学校 | 8 | 出雲養護学校邇摩分教室 | 13 | 益田養護学校 | | |
| 4 | 松江養護学校 | 9 | 出雲養護学校みらい分教室 | 14 | 隠岐養護学校 | | |
| 5 | 松江養護学校安来分教室 | 10 | 出雲養護学校雲南分教室 | 15 | 松江清心養護学校 | | |

(中学校 72 校)

| No. | 学校名 | No. | 学校名 | No. | 学校名 | No. | 学校名 |
|-----|-----------------|-----|---------------|-----|------------|-----|--------------|
| 1 | 義務教育学校 八束学園(後期) | 19 | 出雲市立第一中学校 | 37 | 奥出雲町立仁多中学校 | 55 | 益田市立益田中学校 |
| 2 | 義務教育学校 玉湯学園(後期) | 20 | 出雲市立第二中学校 | 38 | 飯南町立頓原中学校 | 56 | 益田市立高津中学校 |
| 3 | 松江市立第一中学校 | 21 | 出雲市立第三中学校 | 39 | 飯南町立赤来中学校 | 57 | 益田市立益田東中学校 |
| 4 | 松江市立第二中学校 | 22 | 出雲市立河南中学校 | 40 | 浜田市立第一中学校 | 58 | 益田市立東陽中学校 |
| 5 | 松江市立第三中学校 | 23 | 出雲市立河南中学校若松分校 | 41 | 浜田市立第二中学校 | 59 | 益田市立横田中学校 |
| 6 | 松江市立湖南中学校 | 24 | 出雲市立浜山中学校 | 42 | 浜田市立第三中学校 | 60 | 益田市立小野中学校 |
| 7 | 松江市立湖東中学校 | 25 | 出雲市立南中学校 | 43 | 浜田市立浜田東中学校 | 61 | 益田市立中西中学校 |
| 8 | 松江市立本庄中学校 | 26 | 出雲市立平田中学校 | 44 | 浜田市立旭中学校 | 62 | 益田市立美都中学校 |
| 9 | 松江市立湖北中学校 | 27 | 出雲市立向陽中学校 | 45 | 浜田市立三隅中学校 | 63 | 益田市立匹見中学校 |
| 10 | 松江市立鹿島中学校 | 28 | 出雲市立佐田中学校 | 46 | 大田市立第一中学校 | 64 | 津和野町立津和野中学校 |
| 11 | 松江市立島根中学校 | 29 | 出雲市立多伎中学校 | 47 | 大田市立第二中学校 | 65 | 吉賀町立吉賀中学校 |
| 12 | 松江市立美保関中学校 | 30 | 出雲市立湖陵中学校 | 48 | 大田市立北三瓶中学校 | 66 | 西ノ島町立西ノ島中学校 |
| 13 | 松江市立八雲中学校 | 31 | 出雲市立大社中学校 | 49 | 大田市立志学中学校 | 67 | 知夫村立知夫中学校 |
| 14 | 松江市立宍道中学校大野原分校 | 32 | 出雲市立斐川西中学校 | 50 | 大田市立大田西中学校 | 68 | 隠岐の島町立西郷中学校 |
| 15 | 安来市立第一中学校 | 33 | 雲南市立大東中学校 | 51 | 江津市立江津中学校 | 69 | 隠岐の島町立西郷南中学校 |
| 16 | 安来市立第三中学校 | 34 | 雲南市立加茂中学校 | 52 | 江津市立江東中学校 | 70 | 隠岐の島町立五箇中学校 |
| 17 | 安来市立広瀬中学校 | 35 | 雲南市立木次中学校 | 53 | 川本町立川本中学校 | 71 | 開星中学校 |
| 18 | 安来市立伯太中学校 | 36 | 雲南市立三刀屋中学校 | 54 | 邑南町立羽須美中学校 | 72 | 松徳学院中学校 |



出雲市立浜山中学校へ助成



益田市立中西中学校へ助成

会員の皆様がより健康で豊かな生活を営むための福祉事業も行っています。

表 I

| 項目 | 内 容 | 実績 | | |
|----------------------------|--|--------------------|--------------------|--------------------|
| | | R 4 年度 | R 3 年度 | R 2 年度 |
| (1)傷病見舞金 | 傷病で長期に継続休暇・休職をした場合に給付 ・ランクにより対象休暇日数、見舞金は異なる | 11件 114,000円 | 9件 115,000円 | 11件 89,000円 |
| (2)災害見舞金 | 不慮の事故で財産に著しい損害を受けた場合に給付 ・損害の程度により見舞金は異なる | 0件 0円 | 0件 0円 | 0件 0円 |
| (3)結婚祝金 | 結婚した場合、祝金 2 万円を給付 *一人 1 回 | 70件 1,400,000円 | 63件 1,260,000円 | 80件 1,600,000円 |
| (4)出産祝金 | 出生の子ごとに 1 万円を給付 ・正会員の配偶者の出産も対象 ・正会員夫婦の場合、双方に給付 | 142件 1,460,000円 | 147件 1,480,000円 | 136件 1,370,000円 |
| (5)弔慰金 | 物故会員に弔慰金 3 万円をお供え | 9件 270,000円 | 9件 270,000円 | 8件 240,000円 |
| (6)宿泊施設利用補助 | 指定の宿泊施設利用に補助 ・ B ランク会員 2,000 円 / 泊 年間 6 泊まで ・ C ランク会員 3,000 円 / 泊 年間 6 泊まで ・ D ・ E ランク会員 3,000 円 / 泊 年間 9 泊まで | 115件 316,000円 | 89件 247,000円 | 79件 219,000円 |
| | 島根県教育会館の宿泊利用に対して補助 500 円 / 泊 | 休業 | 219件 109,500円 | 196件 98,000円 |
| (7)その他 (株)島根教弘が行う記念品贈呈等 | ①新規加入者記念品 ②ユース教弘移行記念品 ③加入者記念品 | | | |

日教弘の会員は、「入会資格を満たす者のうち、日教弘の趣旨に賛同し、入会申込をした者」としています。

島根支部の会員のうち、教弘保険に加入している方を島根支部の福祉事業の対象者とし、表Ⅱのとおり教弘保険の加入口数に応じて A 会員、正会員 (B 正会員、C 正会員、D 正会員、E 正会員) と称し、表 I の福祉事業を受けることができます。

なお、対象の事業は、A 会員は表 I の (1) (2)、正会員は (1) ~ (7) です。

また、表 I の (1) ~ (5) については事実が発生してから 2 年以内に申請してください。

詳しくは、令和 5 年度島根教弘会報 vol. 1、(公財)日教弘島根支部の HP をご覧ください。

この他に (公財)日教弘本部が提供する福利厚生サービス「日教弘クラブオフ」は、日教弘会員であれば、教弘保険未加入の方も利用できます。

表Ⅱ：福祉事業サービス基準(島根支部)

| ランク | 加入内容 (付属保険は含まない) | |
|-------|---|---------------------------|
| A 会員 | 教弘保険 (No.52) 新教弘保険 A 型、B 型、S 型 | 単独又は通算して 1 口以上 6 口未満 |
| B 正会員 | 教弘保険 (No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型 | 単独又は通算して 6 口以上 16 口未満 |
| | 新教弘保険 K 型 (追加集団) | 1 口 ~ 2 口 |
| C 正会員 | 教弘保険 (No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型 | 単独又は通算して 16 口以上 26 口未満 |
| | 新教弘保険 K 型 (追加集団) | 3 口 |
| D 正会員 | 教弘保険 (No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型 | 単独又は通算して 26 口以上 46 口未満 |
| | 新教弘保険 K 型 (追加集団) | 4 口 |
| E 正会員 | 教弘保険 (No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型 | 単独又は通算して 46 口以上 |
| | 新教弘保険 K 型 (追加集団) | 5 口以上 |

新会員からの声

「学校はまなびの宝庫」

島根県立大社高等学校

西村 健

島根生まれ、島根育ち、生粋のしまねっこだである私は、この生まれ育った大好きなふるさとに恩返しがしたいと思いい、地域の未来を担う人財を育成する教職の道に進みました。高等学校教諭として採用されて半年が過ぎ、これまで生徒の視点からしか見えてこなかった「教師」という仕事の大変さとやりがいを実感する毎日です。

働き始めて思うことは、すべてが想定した通りにいくわけではないということです。生徒は本当に多様であり、いろいろな反応を見せてくれます。年齢が近いということもあり、生徒の感覚や心情はある程度わかっているつもりでしたが、きちんと理解できておらず、対応や接し方について思い悩むことも多々ありました。

うまくいくこと、いかないこと、それぞれありますが、そのすべてが自身の学びとなり、私のこれからの教師像を形づくる糧となっています。右も左もわからず始まった教員生活1年目ですが、温かくサポートしてくださる先生方や、毎日たくさんのエネルギーをくれる生徒のおかげでも楽しく充実した日々を過ごすことができています。

この度私は、教育公務員弘済会に入会し、教弘保険に入りました。周りの方々からの勧めもあり、経済的な支えが必要だと考えたからです。ライフプラン・コンサルタントの方も親身になって話をしてくださいませ。このような充実した環境のなかで仕事ができることに感謝しながら、学び続ける姿勢を忘れずに頑張っていきたいと思えます。

事務局から ～島根支部の事業説明会について～

日教弘島根支部では、島根支部の事業をご理解、ご活用いただくために、県内の各学校や幼稚園等で事業説明会を開催しています。今年度は、放課後や夏休み中などに15分程度の時間をいただき、87校園（11月6日現在）で日教弘の目的、歴史や島根支部の事業内容などを説明しました。説明後のアンケートでは、「弘済会がどのような活動をしているのか知らなかったので、知ることができる良い機会になりました。」等の感想をいただいています。今後も事業説明会を開催したいと考えていますので、よろしくお祈りします。

55歳以上の方を対象に「退職準備セミナー」を開催します

日教弘共済事業の提携会社であるジブラルタ生命保険株式会社の協力を得て、これからの皆様の生活設計のお役にたてるよう、リタイアメント・ライフのためのセミナーを下記の通り開催します。

| | | | |
|-------|------------|-------------|------------------|
| ○松江会場 | 12月 2日 (土) | 9:30~11:30 | くにびきメッセ601 |
| ○出雲会場 | 11月25日 (土) | 10:00~12:00 | 出雲市民会館301会議室 |
| ○江津会場 | 11月23日 (木) | 10:00~12:00 | ミルキーウェイホール2F大会議室 |
| ○益田会場 | 11月26日 (日) | 10:00~12:00 | 益田商工会議所2F役員議員室 |





期日・会場

共済事業 (提携保険事業)

「教弘保険」は教職員だけが加入でき、しかも低廉な保険料で大きな保障があります。真に教職員の福利を目的とした生命保険です。

すべての教職員の皆様へ

ご自身・ご家族の病気・怪我に要する医療・介護の費用、さらに万一の場合への備えをどうするか。また一方で、子供の教育資金、住宅資金、老後資金など、生命保険はこのようなリスクを経済的にカバーする手段のひとつです。下記のライフサイクルを基に「LCサービス」を使って必要保障額を算出し、ご自身・ご家族の将来への備えを考えてみましょう。

| | | | |
|--|--|--|---|
| <p>教員として就職、そして結婚。死亡保障とともに不慮の事故に対応する保障(高度障害等)を考えましょう。</p>  | <p>子供が生まれ家族への責任が重くなります。子供への教育資金、住宅購入資金等を考え始めるこの年代は必要保障額が大きくなります。</p>  | <p>教育・住宅資金等30代の時より更に資金が必要。加齢に伴い医療保障の充実を考えなければなりません。その他にも老後資金についてもそろそろ準備を始めましょう。</p>  | <p>子供の教育資金がピークを迎え、老後資金準備も重要な年代です。加齢に伴う健康不安から、医療保障の必要性も高まり、夫婦どちらかの親の介護に取組む場合もあります。</p>  |
| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 |

| | | |
|---|--|--|
| <p>加入例 22歳 (死亡保険金 3,000万円 災害割増特約 900万円)</p> <p>34歳以下の方に</p> <p>ユース教弘保険</p> <p>(災害割増特約付集団契約特約付労働保険)</p> <p>月払保険料 4,539円</p> | <p>加入例 39歳 (死亡保険金 3,000万円)</p> <p>35歳以上の方に</p> <p>新教弘保険A型</p> <p>(集団契約特約付労働保険)</p> <p>月払保険料 10,530円</p> | <p>加入例 65歳 (死亡保険金 3,000万円)</p> <p>65歳以上の方に</p> <p>新教弘保険K型 (5年毎更新)</p> <p>(集団契約特約付労働保険)</p> <p>月払保険料 10,530円</p> |
|---|--|--|

※ユース教弘の保障期間は39歳まで継続します。

※保険料は年齢別・男女別によって異なります。
※保険料は更新時年齢により異なります。

※ご契約にあたっては、必ず共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命保険株のLC(ライフプラン・コンサルタント)にお問い合わせの上、必ず「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。上記の内容は2023年10月末日現在の概要を示したものです。

損害保険事業

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険

約12,000人の方がご加入されています

教育業務中だけでなく、日常生活のトラブルからも

教職員の皆さまをトータルでお守りします。

教弘まなびや スーパープラン

教職員賠償責任保険 + 団体総合生活保険(まなびや)

約 **37%** 割引

2023年8月1日始期
2023年8月1日午後4時～
2024年8月1日午後4時(1年間)

中途加入の補償期間
加入依頼日の属する月の翌月1日午前0時～2024年8月1日午後4時

募集期間
2023年6月1日(木)～2024年6月20日(木)

加入者資格
公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方
1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員 4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
6. 1～5.の退職者

被保険者になれる方の範囲
公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方
1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
【注】教育委員会・教育事務所等の職員の方は、被保険者になれません。
※「教職員」は、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等

教職員賠償責任保険
教職員業務の遂行に起因した損害賠償請求に！
1 教職員個人の争訟費用(弁護士費用等)および損害賠償金を補償！
2 初期対応費用も補償！(身体障害を被った被害者への見舞金等)
3 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償！
4 教職員でなくなった後になされた請求についても5年間補償！

団体総合生活保険(まなびや)
1 ご本人のケガを入院・通院1日目から補償します。学校行事中のケガは倍額補償！
2 生徒の見舞い費用も補償！
3 携行品損害・救済者費用等も補償！
4 ご本人およびご家族の日常生活での賠償事故を補償！
5 O-157等の特定感染症も補償！

ホームページから資料請求
いただいた方へもれなく
粗品をプレゼント
しています→

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
www.nikyoko.or.jp

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。 2023年2月作成 募集文書番号22T-100152

地域の関係諸機関と協働しながら進める 探究学習(PBL)の持続可能性とその教育効果について

～「掛合分校がうんなんのお米を応援するプロジェクト」の取組を通して～

島根県立三刀屋高等学校掛合分校

研究の方向性

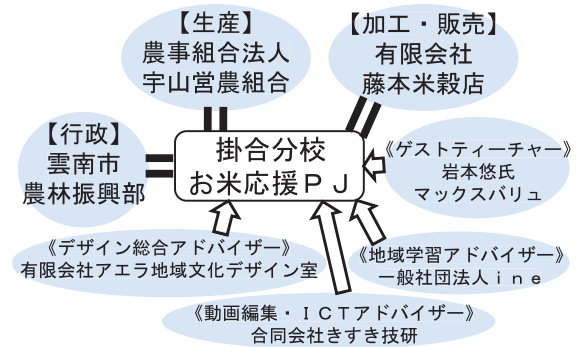
少子高齢化や地方の過疎化が進む中、地域活性化と若者の地元定着を進めていく上においても、また、教職員の働き方改革という視点からも、地域の関係諸機関や専門家を巻き込んだ教育の「地域協働体制」を構築していくことが求められている。

掛合分校では、地域の大人たちとの関りを深めながら、地域を知り、地域の課題解決のための具体的な提案を行う「地域をフィールドとした探究学習(PBL)」の実践を進めてきた。活動の進め方は、単発的、イベント的な一過性のものでなく、持続可能で継続的なものでなければならないが、教職員の負担は大きい。本研究は、地域の関係諸機関と協働しながら進める探究学習(PBL)の持続可能性とその教育効果について検証する。

実践内容

- ① 田植え体験学習(5月9日)
- ② デザイン総合アドバイザーからのレクチャー(6月17日)
- ③ 生産者の方へのインタビュー(6月22日)
- ④ 班別に販売促進プランの立案(6月、7月)
- ⑤ 生産者の方への販売促進プラン中間発表、稲刈り体験学習(9月14日)
- ⑥ ブランド米検査買入れ式での発表(9月28日)
- ⑦ 販売者からのレクチャー(10月12日)
- ⑧ 販売実習に向けた事前研修会(11月8日・10日)
- ⑨ 台湾輸出、出商デパートへの出荷(11月、12月)
- ⑩ 「日比谷しまね館」特別販売会開催(12月1日)
- ⑪ 雲南市等への成果報告(12月15日・20日)

「掛合分校がうんなんのお米を応援するプロジェクト」
協働体制組織図



研究実践の考察

(1) 持続可能な地域協働体制の構築

これまで教職員だけでは指導が行き届かないところもあったが、専門家からプロの視点で継続的な指導を受けることが可能となり、探究学習(PBL)の持続可能性を高めることができた。また、地域の関係諸機関にとっても価値ある取組となり、地域と学校双方の積極的な姿勢がこのプロジェクトの大きな推進力となった。

(2) 生徒の主体性と地域貢献意識の向上

生徒アンケートの結果から、生徒の学習に対する主体性の向上と、地域貢献意識の醸成という教育効果が表れていることが分かった。また、生徒の満足感に満ち溢れた表情や会話、行政・生産者・販売者をはじめ地域の方からの称賛や感謝の声など、手応えを実感できることも多くあった。

島根教弘会報 令和5年度 第2号

発行日 令和5年12月1日
 発行兼編集 〒690-0887 島根県松江市殿町33番地 TEL 0852-24-1059
 公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部 FAX 0852-31-6089
 E-mail: simane@nikkyoko.or.jp HP: https://nikkyoko-shimane.jp
 株式会社 島根教弘 TEL 0852-24-7750
 E-mail: shimane@nikkyoko.co.jp
 責任者 河原 一朗 印刷・製本 明和印刷有限会社



日教弘島根支部の
HP用QRコード